

■ Java プログラムで使用する API の説明

<pre>java.lang public final class String クラス String は文字列を表す。</pre>
メソッド
<pre>static public String format(String format, Object... args) 指定された書式文字列と引数を使って、フォーマットされた文字列を返す。 引数： format — 書式文字列 args — 書式文字列の書式指示子により参照される引数 戻り値：フォーマットされた文字列</pre>
<pre>public int indexOf(int ch) 指定された文字が、この文字列中で最初に出現する位置のインデックスを返す。 引数： ch — 文字 戻り値：指定された文字が最初に出現する位置のインデックス この文字列中に指定された文字がなければ -1</pre>
<pre>public int length() この文字列の長さを返す。 戻り値：この文字列の長さ</pre>
<pre>public char[] toCharArray() この文字列を文字配列に変換する。 戻り値：この文字列の文字の並びが格納されている文字配列</pre>
<pre>public String toLowerCase() この文字列内の全ての大文字を、小文字に置き換えた文字列を返す。 戻り値：この文字列内の全ての大文字を小文字に置き換えた文字列</pre>
<pre>static public String valueOf(char ch) 指定された文字の文字列表現を返す。 引数： ch — 文字 戻り値：文字 ch の文字列表現</pre>

java.util

public interface Map<K, V>

型 K のキーに型 V の値を対応付けて保持するインタフェースを提供する。各キーは、一つの値としか対応付けられない。

メソッド

public void clear()

保持しているキーと値の対応付けを、全て削除する。

public V get(Object key)

指定されたキーに対応付けられた値を返す。

引数: key — キー

戻り値: 指定されたキーに対応付けられた型 V の値
このキーと値の対応付けがなければ null

public Set<K> keySet()

登録されているキーの集合を返す。

戻り値: 登録されているキーの集合

public V put(K key, V value)

指定されたキーに指定された値を対応付けて登録する。このキーが既にほかの値と対応付けられていれば、その値は指定された値に置き換えられる。

引数: key — キー

value — 値

戻り値: 指定されたキーに対応付けられていた型 V の古い値
このキーと値の対応付けがなければ null

public V remove(Object key)

指定されたキーの対応付けが登録されていれば、削除する。

引数: key — キー

戻り値: 指定されたキーに対応付けられていた型 V の値
このキーと値の対応付けがなければ null

java.util

public class HashMap<K, V>

インタフェース Map のハッシュを用いた実装である。

メソッドの説明は、インタフェース Map の項を参照

コンストラクタ

public hashMap()

空の HashMap を作る。

java.util

public interface Set<E>

型 E の要素を集合（セット）として管理するインタフェースを提供する。

Java.lang.Iterableを継承する。